

道民の皆様へ

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺被害防止のためのメッセージ
～家族や地域の絆を深めて被害防止を～

道内における平成26年中の特殊詐欺の被害は259件で、被害総額は過去最悪の約12億5千万円となり、極めて憂慮すべき状況です。

特に、お子さんを装う「オレオレ詐欺」や、名義貸しを持ちかけ、その後トラブルとなったとして解決名目に現金を要求するなどの「架空請求詐欺」では、多くの高齢者の方が被害に遭われています。

特殊詐欺の犯人にだまされないためには、詐欺の手口に関心を持ち、ご家族やご親戚の方々の集まりの機会や、日常生活の会話などにおいて、繰り返し話題にしていただくとともに、「家族の間で合い言葉を決めておく」、「急いでお金を用立てて欲しいとの電話を受けた時は、一旦電話を切ってお子さんやお孫さん等に相談する」など『家族のルール』を決めておくことが有効です。

また、「ご家族のほかにも、普段から困った時に相談する人を決めておく」、「地域の皆様一人ひとりが、近所に住む高齢者の方に声かけ等の見守り活動を通じて、お互いに話しやすい関係を作る」など『地域のコミュニケーション』を深めることも大切です。

北海道が推進する「安全・安心どさんこ運動」は、ご家族や地域の絆を深め、地域のコミュニティ機能を高めることにより、犯罪のない安全で安心な北海道の実現を目指す取組です。

私たち一人ひとりが、絆を一層深め合い、特殊詐欺の被害に遭わないようにしましょう。

平成27年1月28日

北海道知事

育橋 恒子

北海道警察本部長

室城 信之